

情報公開文書

研究課題名	前向き観察研究に登録された骨髄異形成症候群における、同種移植までの橋渡し治療と移植成績の検討
研究体制	<input type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： 金沢大学附属病院)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>石山 謙</u> 当 院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>住 昌彦</u>
研究期間	承認日 ～ 2021年3月31日
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>日本成人白血病治療共同研究グループ(JALSG)が主導する観察研究(CS11)に登録された「芽球増加を伴う不応性貧血(MDS-RAEB/EB)」患者さんの診断後に行われた治療とその効果、および移植成績について検討を行います。特に移植前の最善の治療を明らかにすることにより、今後の治療方法改善に向けた取り組みに利用します。</p> <p>(研究方法)</p> <p>○試料・情報の利用方法</p> <p>2011-2016年にJALSGが行ったCS11研究に登録された、登録時70歳以下のMDS-RAEB/EB患者さんが対象です。対象患者さんの治療内容、予後を調査します。治療に関する介入はなく、人体試料の採取もありません。頂いた情報を元に、統計学的手法を用いて、生存に影響を及ぼす因子について解析を行います。研究実施期間は研究承認日から2021年3月までです。</p> <p>○提供する方法</p> <p>収集する情報に個人情報はありません。データは暗号化されたインターネット通信により本研究事務局に送付、保存されます。</p> <p>○提供する情報</p> <p>次の情報をインターネット通信により研究事務局へ送付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行われた治療内容、移植準備をしたかどうかとその理由、それぞれの治療の効果判定 ・(同種移植が行われた患者さんのみ) 日本造血細胞移植データセンターID、移植直前の臨床検査値(骨髄芽球割合、ヘモグロビン値、血小板数、好中球数、骨髄染色体異常有無、染色体核型) ・(同種移植が行われなかった患者さんのみ) 移植が行われなかった理由 ・(死亡患者さんのみ) 死因

試料・情報	カルテデータ
研究対象者	<p>日本成人白血病治療共同研究グループ (JALSG) が主導する観察研究 (CS11) に登録された「芽球増加を伴う不応性貧血 (MDS-RAEB/EB)」患者さん</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
お問い合わせ先	<p>〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>住 昌彦</u></p> <p>TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>